

1. 建物概要										
建物名称	オオスズ技研 新都田工場 新築工事					BEE	1	BEEランク	B+	★★★
2. 重点項目への取組み度										
重点項目	得点※/満点		取組み度				評価			
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	3.5	/5					ふつつ			
“災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	2.8	/5					がんばろう			
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	2.4	/5					がんばろう			
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	2.9	/5					がんばろう			
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示 します。(スコア1.0＝1点、スコア5.0＝5点)			評価 凡例	よい 4 点以上		ふつつ 3 点以上		がんばろう 3 点未満		
3. 重点項目についての環境配慮概要										
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。						内訳対応項目				
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)						得点	3.5			
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①対象外 ②対象外					Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ⑤ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ⑥ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ⑦ 空調機気ダクトの更新必要間隔 ⑧ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ⑨ 主要設備機器の更新必要間隔			
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤外構緑化指数を30.8%確保した。 ⑥緑地の緑が連続するよう外構植栽計画を行った。					Q-3 1 ⑤ 3 3.2 ⑥	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上			
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦対象外 ⑧対象外 ⑨対象外 ⑩対象外					LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑩	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑪ 運用管理体制			
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水コマなどに加えて、省水型機器などを用いている。 ⑫タイル(エコマーク商品類型109)に認定された商品ピアガイEXを使用。 ⑬ODP=0かつGWPが低い発泡剤を用いた断熱材を使用している。					LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑪ 1.2.2 ⑪ 2 2.1 2.1.1 ⑫ 2.1.2 ⑫ 2.1.3 ⑫ 2.1.4 ⑫ 2.1.5 ⑫ 2.1.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬	⑪ 節水 ⑫ 雨水利用システム導入の有無 ⑬ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑭ 材料使用量の削減 ⑮ 既存建築躯体等の継続使用 ⑯ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑰ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑱ 持続可能な森林から産出された木材 ⑲ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑳ 有害物質を含まない材料の使用 ㉑ 消火剤 ㉒ 断熱材 ㉓ 冷媒			
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭対象外 ⑮地表面対策面積率を27.63%確保した。					LR-3 1 ⑭ 2 2.2 ⑮	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善			
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)						得点	2.8			
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯建築基準法に定められた耐震性を有する。					Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑰ 免震・制振性能 ⑱ 空調・換気設備 ⑲ 給排水・衛生設備 ⑲ 電気設備 ⑲ 機械・配管支持方法 ⑲ 通信・情報設備			
	“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)						得点	2.4		
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑱対象外					Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲	⑱ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ ⑲ 地域性への配慮、快適性の向上			
	■室外環境(敷地内)対策 (②地域性・アメニティへの配慮) ②見通しのいいフェンスを境界壁とする。					Q-3 3 3.1 ②				
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)						得点	2.9			
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤外構緑化指数を30.8%確保した。 ⑥緑地の緑が連続するよう外構植栽計画を行った。					Q-3 1 ⑤ 2 ⑥ 3 3.2 ⑥	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ まちなみ景観への配慮 ⑥ 敷地内温熱環境の向上			
	■敷地外環境対策 (⑮温熱環境悪化の改善) ⑮地表面対策面積率を27.63%確保した。					LR-3 2 2.2 ⑮	⑮ 温熱環境悪化の改善			